

平成 23 年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書

(平成 22 年度事業)

平成 23 年 9 月
日野市中央公民館

目 次

1	はじめに	1
2	公民館の組織と概要	1
3	評価の目的	2
4	評価の対象	2
5	評価の実施方法	3
6	評価の結果	3～4
	総 評	3～4
7	公民館施策・事業評価表	
	評価項目（基本施策別）	
	（1） 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。	5
	（2） 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。	6
	（3） 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。	7
	（4） 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。	8
	（5） 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。	9
	（6） 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。	10
	（7） 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。	11
	（8） 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。	12
	（9） 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するよう事業を展開する。	13
	（10） 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。	14
8	公民館の運営状況に関する評価実施要綱	15
9	公民館の運営状況に関する評価のための資料	16～28

1 はじめに

平成20年6月に「社会教育法」が改正され、第32条で「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされ、第32条の2で「公民館は、当該事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。」とされました。

これらを受け、公民館では平成21年3月31日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成21年度から公民館の運営状況に関する評価を実施していくことにしました。

2 公民館の組織と概要

1) 施設・22年度年間利用者状況（館外事業参加者を除く）

◎ 中央公民館

開設日	昭和41年7月1日
建築面積	425.3㎡
延床面積	687.9㎡（講座室A、講座室B、調理実習室、視聴覚室、小会議室、ホール、実習室、談話室、保育室）
利用者状況	42,394人

◎ 中央公民館高幡台分室

開設日	平成16年4月21日
建築面積	日野市教育センター内
延床面積	1,058㎡（講座室1～6、実習室、談話室、和室）
利用者状況	26,780人

2) 組織・職員 管理係・事業係 10人〔館長1、副館長（管理係長・事業係長兼ねる）1、主査1、長期主任1、主任2、主事1、嘱託職員1（月16日勤務）、再任用職員2（月16日勤務）〕

3) 22年度決算 92,276,659円（職員人件費63,071,200円、公民館運営審議会経費786,040円、中央公民館運営経費10,308,293円、中央公民館施設管理経費5,586,158円、成人事業経費2,971,004円、高齢者事業経費298,159円、障害者（児）事業経費4,487,261円、公民館まつり・アートフェスティバル事業経費1,765,601円、中央公民館高幡台分室運営経費1,681,385円、市民大学経費577,000円、青少年事業経費744,558円）

3 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な公民館事業の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年1回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

4 評価の対象

評価の対象は、公民館が毎年度ごとに設けている基本方針の中の基本施策としました。

〈平成22年度中央公民館基本方針〉

1 基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

2 基本施策

- (1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。
- (2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。
- (3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。
- (4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。
- (5) 安心できる日野市・安全な社会を旨とした事業を展開する。
- (6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- (7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。
- (8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。
- (9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するよう事業を展開する。
- (10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

3 重点施策

- (1) 公民館基本構想・基本計画のロードマップを作成する。
- (2) 公民館基本計画推進会議の設置と規約の策定をする。

- (3) 公民館運営審議会の機能の充実・強化をはかる。
- (4) 公民館等社会教育施設の在り方検討委員会を設置する。
- (5) 公民館独自のホームページの作成など、広報活動の充実をはかる。

5 評価の実施方法

評価を行うに当たっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である公民館運営審議会の意見を伺いながら行いました。

今評価は施策評価であるため、公民館の運営状況に関する評価のための資料（平成22年度中央公民館基本施策と事業）を作成し、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、それをもとに評価を行いました。

6 評価の結果

公民館運営審議会委員より頂いた基本施策の個別評価を包括した総評は次のとおりです。これらの意見・評価および平成21年度に策定した「公民館基本構想・基本計画」に基づき、学習や市民活動を通して「人育ち まち育ち 社会育ち」を目的に学びの支援の諸活動を行ってまいります。

公民館の自己評価及び公民館運営審議会委員からいただいた各基本施策に対する意見・評価は、5ページ以降の公民館施策・事業評価表(1)～(10)のとおりです。

総 評

- ① 10の基本施策の取り組みに対し、概ね良好に実施できており評価できる。なお、取り組み事業の内容によっては、別の基本施策に入ると思われる事業もあり、それぞれの事業を実施する場合にどの基本施策の事業なのかをしっかりと認識した上で展開することが望まれる。
- ② 様々な事業が開催されて、成果があったと思われる。特に移動公民館事業の取り組みは、公民館をより多くの人に知ってもらい、利用してもらうために有効であったと高く評価する。
- ③ 10の構想をそのまま基本施策にして、それに事業を振り分けることに無理があるように思われる。構想毎に課題を整理し、その展開で事業を企画したい。職員、公運審、推進会議で十分議論し計画したい。
- ④ 公民館での各種事業を、この10の基本施策のどこに割り当てるか、苦慮したものである。それぞれの事業は、様々な性格を複合的に持っているので、ねらいをどこに絞って事業を組み立てるのか、そこを明確にすることで解決できると思う。
- ⑤ 公民館主催事業をより効果あるものとするためには、多くの参加者が事業の結果として身につけた知識等を個々人のもので終わらせることなく、広く地域住民に引き継がれていく必要がある。そのためには、公民館の存在を知らしめることが第1である。基本構想の市民アンケート結果から見てもかなりの人が知らないか間違えているのが実情である。また、受講したい講座があつて

も、交通の便が悪い、駐車場が狭い、遠い等々の問題がある。これらの問題を解決する意味でも移動公民館として4拠点での開講を推し進めて行く必要がある。日野市で頑張っている伝統工芸、匠の技の紹介講座もあるとよいのではないか。子どもたちが、大人になってからも日野市に住んでよかったと思えるような地域であってほしい。このような内容の講座を子どもたちに提供出来たら良いと思う。公民館の歴史についてもやったらどうか。

- ⑥ 日頃、公民館職員に接していると思うことは、“市民のニーズに応えるために一生懸命働いてほしい”ということである。ただ、市民の手足となることを最終目的とすべきではないと思う。市民に任せるべきところは任せ、基本構想の視点で市民に働きかける。住みやすい日野市を作り上げるには市民とどうかかわっていけばいいのか、といったことを常に考えている職員であってほしいと思う。
- ⑦ 内容、対象年齢、場所等でかなり気配りしながら職員も講座づくりに頑張ったとその努力は評価する。限られた予算の中でバランス良く事業を展開していく苦労はあると推察するが、社会教育の拠点となる公民館を充実させる為に、今後もアンテナを高くして情報を収集して市民のニーズに応える事業を期待する。
- ⑧ 講座としては多岐に渡る内容で充実している。後は、不易と流行をどう捉え講座を設定していくかを考えていけば、公民館の使命は果たせると考える。
- ⑨ 日野市の公民館はよくやっている。今後の移動公民館に期待いたします。
- ⑩ 年間これだけの事業を成すのは大変なことだと思います。果たしてこの数が適当なのか（他がらみの事業もあると思います。）。事業予算も当然厳しいと思いますので、大変な努力だと思います。高く評価したいと思います。市民のための事業展開を期待します。